

PERO'S 
ステーション

第78期 平成27年4月1日～
平成28年3月31日

決算のご報告



東映アニメーション株式会社

株主の皆様へ

アニメーション業界のグローバル・リーディングカンパニーを目指し、企画・製作部門の充実を図ります。

株主の皆様におかれましては、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。また、平素は格別のご支援を賜り、心より御礼申し上げます。

代表取締役社長 高木 勝裕

平成27年度 連結業績

売上高

33,612 百万円

営業利益

7,635 百万円

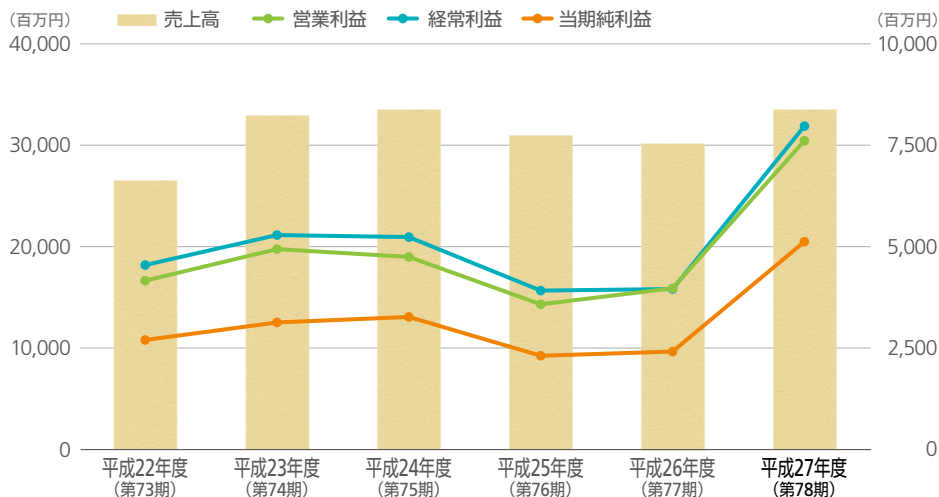
経常利益

7,995 百万円

当期純利益

5,145 百万円

連結業績実績推移



全ての利益で過去最高を達成

当期の業績におきましては、大変好調に推移し、連結売上高は5期連続で300億円越えとなる336億円、利益については、すべてにおいて過去最高を達成しました。

業績好調の要因としては、中国向けを中心とした映像配信権販売や版權事業におけるゲーム化権販売の拡大が大きく寄与しました。これらの事業には、これからも注力し収益拡大につながるよう努力してまいります。

今後の作品の展開としては、7月23日の映画「ONE PIECE FILM GOLD」の公開に合わせ、幅広い業界とのタイアップ・キャンペーン展開や麦わらストアの新店舗オープン、大型催事イベントの開催などで映画を盛り上げてまいります。また、平成28年秋に放映開始予定のテレビアニメ「デジモンユニバース アプリモンスターズ」では、玩具をはじめとした関連商品・ゲーム・雑誌など、クロスメディアで展開します。さらに、今冬に公開予定の長編アニメ映画「ポッピンQ」、現在製作中のCG作品「正解するカド」などのオリジナル作品や、海外での展開を主眼に置いた新たな企画にも力を入れていますので、どうぞご期待ください。

アニメーション業界のグローバル・リーディングカンパニーを目指して

現在、国内のアニメーション市場規模はほぼ横ばいで推移しており、更なる成長のためには、海外展開の拡大が不可欠です。現在でも、当社が持っている豊富なコンテンツを活かし、海外売上高比率は伸びていますが、海外事業の持続的な発展のためには作品の魅力をさらに高めることが重要です。

作品の魅力を高めるには、企画・製作体制の充実が必須です。たとえ知名度がある作品であっても、企画力がなければ活かすことは出来ません。また、製作面においても近年海外市場では3D作品が主流となり、大きな成功を収めています。

企画・製作力を高めるために当社でも、大泉スタジオの建て替え等の設備投資やオリジナル作品製作などを通し最先端の映像技術を取り入れることで、製作技術を高めてまいります。また、人材に関してもしっかりと育成を行うと共に、有能な人材を集めたいと考えています。これらを通して、作品の魅力を高めることで海外展開を加速し、アニメーション業界のグローバル・リーディングカンパニーとなるべく努めてまいります。

株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

平成28年6月

代表取締役社長

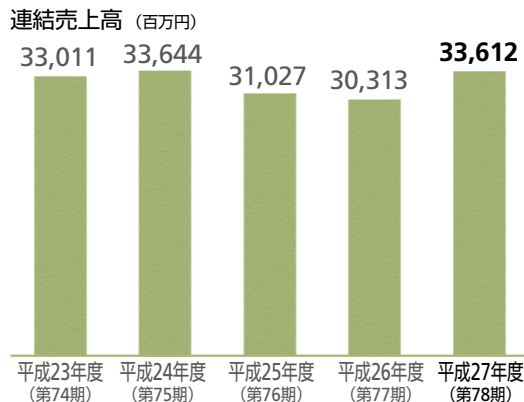
高不勝裕

決算のご報告

平成27年4月1日～平成28年3月31日(第78期連結会計年度)

※記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

当期は、テレビアニメ放映本数の減少やソーシャルゲームの主力タイトルのサービス終了等により国内事業が減収となった一方、中国向けの映像配信や各種ゲーム並びに欧米向けの家庭用ゲーム「ドラゴンボールゼノバース」が好調に稼動したこと等から、海外事業は前期比69.5%増となる大幅な増収となりました。その結果、売上高は5期連続で300億円を超え、第75期(平成24年度)の過去最高額とほぼ肩を並べる歴代2位の売上高336億12百万円となり、各利益に至っては、利益率の高い海外事業の売上高比率が前期比で大幅に上昇(22%→34%)したことにより、いずれも過去最高額を記録しました。



連結営業利益 (百万円)



連結経常利益 (百万円)



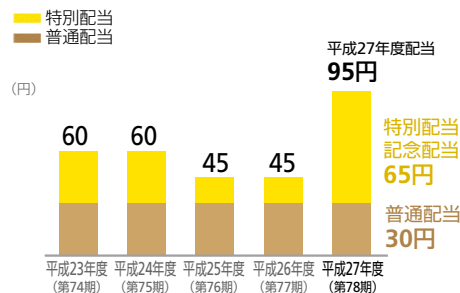
連結当期純利益 (百万円)



配当

当社は継続的かつ安定的な配当の実施を基本に、中長期的な事業計画に基づく積極的な事業展開のための内部資金の確保や業績等を総合的に勘案して、配当を決定しております。

年間配当金につきましては、普通配当30円に特別配当・記念配当65円を加え、1株当たり95円といたしました。



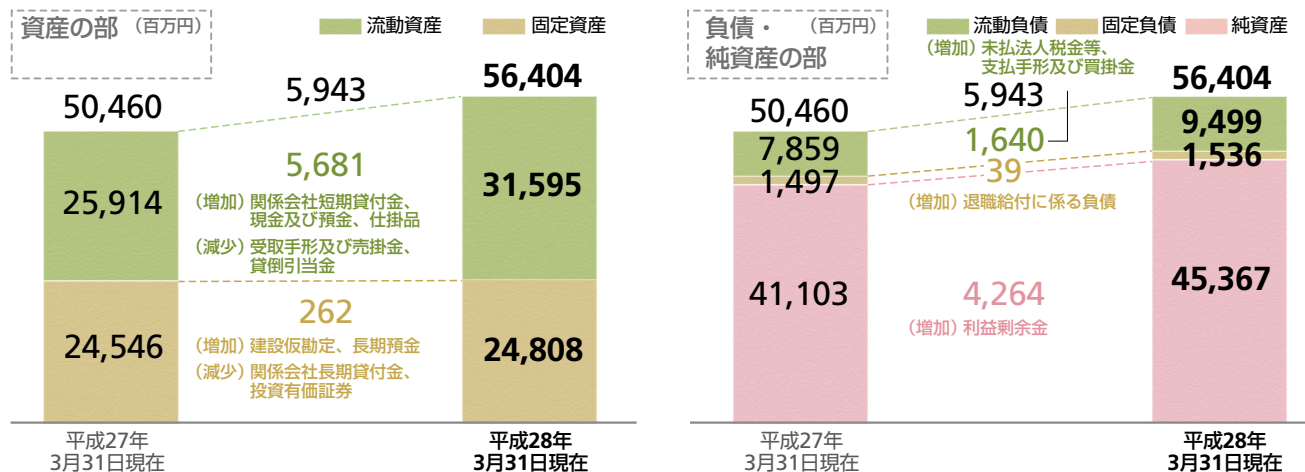
詳細な財務情報のご案内



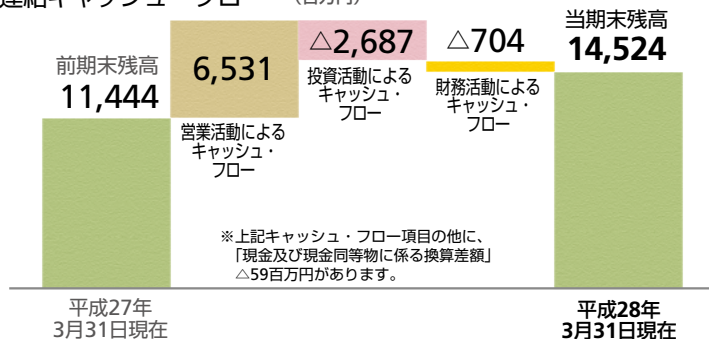
当社ホームページの「IR情報」に各種資料を掲載しています。

【IR情報】 <http://corp.toei-anim.co.jp/ir>

連結貸借対照表



連結キャッシュ・フロー (百万円)



ポイント

引き続き安定した財政状態を維持しております。総資産は前期末より11.8%増加し564億4百万円、純資産は10.4%増加し453億67百万円、自己資本比率は80.4%と高い水準となっています。

第79期見通し

国内では、主力作品による収益の安定・拡大を図るとともに、約3年半ぶりの映画「ONE PIECE FILM GOLD」の劇場公開を梃子に、多面的な二次利用展開を行ってまいります。しかしながら国内事業全体としては、テレビアニメの製作本数の減少やパッケージソフト市場の縮小等もあり、減収となる見込みです。

海外では、中国を中心に配信事業の収益安定化を図ってまいります。著作権事業では、引き続きゲーム化権の販売に注力してまいります。前期好調であった欧米での家庭用ゲームの反動減や中国でのアプリゲームの新規大口契約の減少、また為替の影響も懸念されることから、海外事業全体としては減収となる見込みです。

なお、配当につきましては、1株あたり年間30円をベースに、連結業績に応じて配当性向25%程度を基本といたします。

平成28年度(第79期)連結業績予想	
売上高	30,500 百万円
販管費	5,800 百万円
営業利益	5,700 百万円
経常利益	6,000 百万円
当期純利益	3,800 百万円

事業セグメントの状況

映像製作・販売事業

テレビアニメや劇場アニメ等を企画・製作し、テレビや劇場、DVD、ブルーレイ、インターネット、携帯端末等、さまざまなメディアで展開しています。

売上構成比

41%

売上高

140億5百万円

前年同期比

1.1% 減

「劇場アニメ部門」

「ドラゴンボールZ 復活の「F」」や「デジモンアドベンチャー tri.」シリーズがヒットしましたが、前年同期にあった「ドラゴンボールZ 復活の「F」」の製作収入に相当するものがなかったことから、大幅な減収となりました。

売上高 10億32百万円

売上高推移(百万円)



「テレビアニメ部門」

「魔法つかいプリキュア!」、「ドラゴンボール超」、「聖闘士星矢 黄金魂」等8作品を放映・配信しましたが、前年同期に比べ放映本数が減ったことから、大幅な減収となりました。

売上高 30億73百万円

売上高推移(百万円)



★★ LINEUP OF THE YEAR ★★

〈劇場アニメ〉



平成27年
4月18日公開

「ドラゴンボールZ
復活の「F」」



平成27年
11月21日より
劇場上映

「デジモンアドベンチャー tri. (トライ) 第1章「再会」」

〈新作テレビアニメ〉



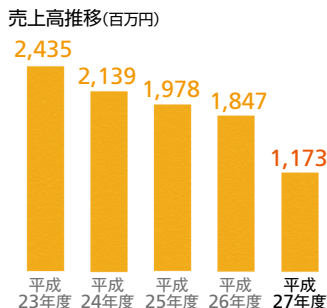
平成27年
7月5日～

「ドラゴンボール超
(スーパー)」

「コンテンツ事業部門」

前年同期にあった「ワンピース」のブルーレイ・DVDや遊技機向け映像製作に相当するものがなかったこと等から、大幅な減収となりました。

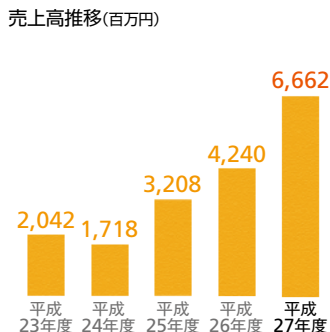
売上高 **11億73**百万円



「海外映像部門」

「ワンピース」や「ドラゴンボール」シリーズ等、複数作品の中国向け大口映像配信権の販売があったことに加え、期中取引時の円安効果もあり、大幅な増収となりました。

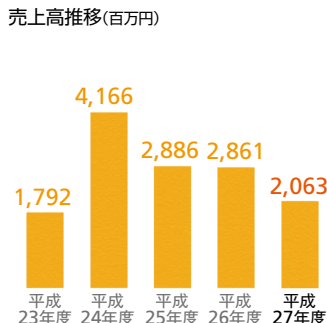
売上高 **66億62**百万円



「その他部門」

定額映像配信市場の拡大もあり、映像配信サービスは好調に稼動しましたが、ソーシャルゲーム『聖闘士星矢 ギャラクシーカードバトル』のサービス終了の影響が大きく、全体としては大幅な減収となりました。

売上高 **20億63**百万円



★★ LINEUP OF THE YEAR ★★



DVD
「ONE PIECE
Log Collection」

ブルーレイ
「デジモンアドベンチャー tri.
第1章「再会」」



hulu

北米動画配信サイト
「hulu」



中国動画配信サイト
「iQiyi」



ブラウザゲーム
「聖闘士星矢 ビッグバンコスモ」



事業セグメントの状況

著作権事業

売上構成比

テレビ放映や劇場公開等と連動して、作品に登場するキャラクターを使用した玩具やゲーム・衣類・文具・食品等の商品を作る権利を、各メーカーに許諾しています。

41%

売上高

138億3百万円

前年同期比

34.7% 増

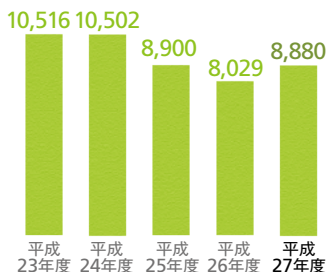
「国内著作権部門」

アプリゲーム『ドラゴンボールZドッカンバトル』及び「ドラゴンボール」シリーズの商品化権や、「ワンピース」のアプリゲーム化権の販売が好調に推移したことから、前年同期と比較して大幅な増収となりました。

売上高

88億80百万円

売上高推移(百万円)



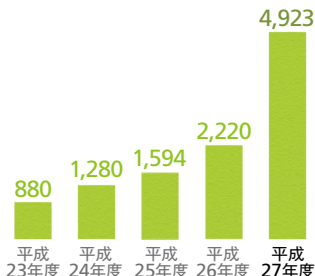
「海外著作権部門」

欧米向けの家庭用ゲーム『ドラゴンボールゼノバース』、中国向けの「ワンピース」のゲーム化権及び「聖闘士星矢」シリーズのアプリゲーム化権等が好調に推移し、また為替の影響もあり、大幅な増収となりました。

売上高

49億23百万円

売上高推移(百万円)



★ LINEUP OF THE YEAR ★



「ドラゴンボール」シリーズ、
「Go!プリンセスプリキュア」、「ワンピース」
国内展開商品



「ドラゴンボール」シリーズ、「ワンピース」、
「美少女戦士セーラームーン」シリーズ
海外展開商品

商品販売事業

著作権事業とは別に、当社自ら商品を開発・販売しています。また、イベントや店舗での直接販売もしています。

売上構成比

14%

売上高

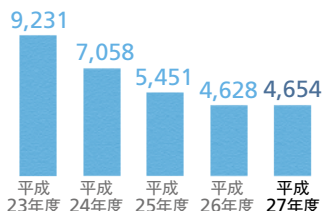
46億54百万円

前年同期比

0.6% 増

ショップ事業の拡大や「ドラゴンボール」シリーズの関連商品の販売が堅調に推移しましたが、前連結会計年度にあった海外のイベント物販に相当するものがなかったこと等から、全体としてはほぼ横ばいとなりました。

売上高推移(百万円)



LINEUP OF THE YEAR



「ワンピース」
麦わらストア
東京ワンピースタワー店

「プリキュア」
プリティストア
福岡PARCO店



LINEUP OF THE YEAR



ワンピース・プレミアショー2015
ユニバーサル・スタジオ・ジャパン®



「魔法つかいプリキュア！」
キャラクターショー

その他事業

催事やキャラクターショー、ミュージカル等のイベントの企画・運営を行っています。

売上構成比

4%

売上高

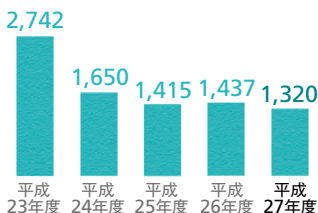
13億20百万円

前年同期比

8.2% 減

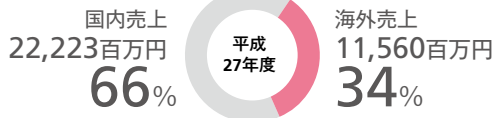
「ワンピース」の催事イベントや「Go!プリンセスプリキュア」のキャラクターショー等を展開しました。「Dr.スランプアラレちゃん」の催事関連が好調に稼働しましたが、全体としては軟調に推移したことから、減収となりました。

売上高推移(百万円)

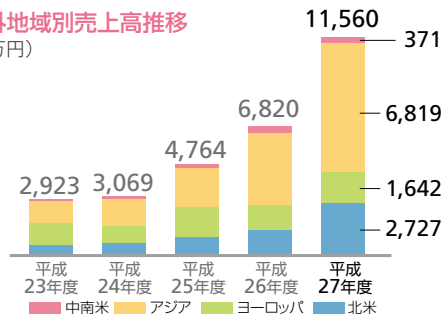


海外での事業展開

国内・海外売上構成比



海外地域別売上高推移(百万円)



※セグメント間取引額を含んでおります。

「デジモンアドベンチャー tri.(トライ)」シリーズ

平成11年に放映を開始し、人気を博したテレビアニメ「デジモンアドベンチャー」。ファン待望の続編が、全6章立ての「デジモンアドベンチャー tri.」として登場。平成27年11月に「第1章「再会」」、平成28年3月には「第2章「決意」」を上映しました。キャスト・スタッフを大幅に刷新し、高校生となった主人公・太一ら「選ばれし子どもたち」の新たな闘いを描いています。続く「第3章「告白」」は平成28年9月24日に劇場上映開始予定。今なお愛される「デジモン」は、日本だけでなく海外からも注目を集めています。



プロデューサーインタビュー

プロデューサー 西田 徹

《《「デジモンアドベンチャー」の続編製作をすることになった経緯を教えてください。》

子どものころ「デジモン」をテレビで観ていた世代が今、20代になっています。大人になった彼らに、懐かしみつつ楽しんでもらえるのではという狙いがありました。世の中テレビアニメ作品が増えている中、他作品に埋もれないように、劇場上映という手法にすることが決まりました。

《《製作で苦労していることはありますか。》

リメイクではなく、全く新しい続編なので、ストーリー構成には苦労しています。元々の「デジモンアドベンチャー」の要素と、新しいキャラクターやデザインとのバランスにも注意しなければならないのが、難しいところです。

《《では、見どころは。》

主人公・太一たちの心の動きです。高校生になった彼らは、その年頃ならではの悩みや葛藤があります。それらを経て大人になっていくストーリーが見どころだと思います。

《《最後に、プロデューサーから一言お願いします。》

9月に上映する第3章で、まだ折り返し地点です。バトルの盛り上がりや、新キャラクターたちの謎が解き明かされていく展開を楽しみにしててください。可愛いデジモンたちが、進化すると格好良くアクションシーンを魅せる、その見事な対比も是非ご注目ください。

《《ありがとうございました!》

「タイガーマスク」(仮題)

梶原一騎、辻なおきの代表作「タイガーマスク」の、新たなテレビアニメーション化が決定。昭和44年に放映された名作アニメ「タイガーマスク」のその後を描きます。47年前のセル時代のアニメを現在のデジタル時代に合わせて刷新し、壮大なスケールのストーリーを新たな世代に伝えようと生まれたこの企画。白いマットのヒーロー・伊達直人が残したタイガーマスクの遺産は新たなプロレスラーに渡り、復活した組織・虎の穴との新たな戦いが始まります。放映についての詳細情報は、続報をお待ちください。



プロデューサー

ギャルマト・ボグダン

プロデューサーインタビュー

〈〈 最初のアニメ化は約50年前です。
なぜ今、「タイガーマスク」なのでしょう。〉〉

数年前から、「新しいタイガーマスクを作りたい」という話が出ていました。それほど根強い人気のある作品ですし、アニメの表現の幅が広がった今だからこそ出来る映像があると考え、今回、製作が決定しました。

〈〈 製作初期の段階だとは思っていますが、苦労などはありますか。〉〉

東映アニメーションは子供向けの作品が主流ですが、「タイガーマスク」はプロレスが題材の渋い作品です。そういったアニメの経験が少ないので、言葉や映像でどこまで表現するか、その線引きが難しいと感じています。

〈〈 では、見どころは。〉〉

新日本プロレスの実際の選手たちが、アニメ内に登場するところです。使われるプロレス技も、実際のものばかり。リアリティと臨場感のある映像を楽しんでもらえるはずです。

〈〈 最後に、プロデューサーとして一言お願いします。〉〉

詳細情報解禁前なので、まだ言えないことがたくさんあるのですが…アニメとは思えないリアルな表現と、古いタッチを残しつつ新技術で魅せる映像をぜひお楽しみください。原作ファンを裏切らない、そして知らない人でも楽しめる、そんな作品になると思います!

〈〈 ありがとうございました! 〉〉

MENU

PERO'S Café

ペロスカフェ



平成27年度中間実施

株主さまアンケート結果のご報告

昨年12月に実施いたしました株主さまアンケートでは、数多くのご回答をお寄せいただきまして誠にありがとうございました。ご返信をいただきました2,000名近くの株主さまの中から厳正なる抽選を行い、300名の皆様に「Go!プリンセスプリキュア」2016年カレンダーを送付させていただきました。今回はアンケート結果のご報告として、皆様より頂戴いたしましたご意見の一部と担当者からのコメントをご紹介します。

アンケートの回収状況

回答数 1,981名

株主数 5,063名*

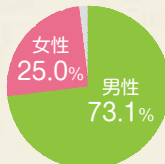
*平成27年9月末時点

回収率

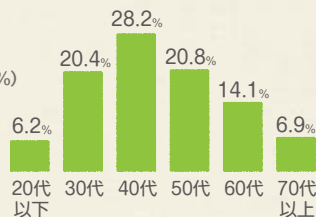
39.1%

ご回答者の属性

男女比
(無回答1.9%)



年代別
(無回答3.4%)

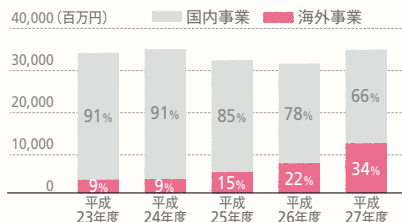


皆さまからのご質問

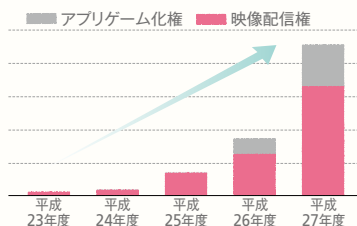
海外部門がまだまだ伸びそう、成長力を感じます。(30代女性)

当期は利益率が高い海外事業の拡大により、全ての利益で過去最高額を記録しました。海外事業は、平成23年度から急カーブで業績を拡大し、現時点では海外比率34%を占めるに至っています。主な要因は、前期から続く中国向け映像配信権販売やアプリゲーム化権の好調な稼働ですが、北米においても5年間で5倍強の伸びを示しています(P8「海外での事業展開」参照)。今後もスマートフォンの世界的な普及やアプリゲーム市場の伸張を背景に、さらなる海外事業の拡大に向けて邁進してまいります。

国内/海外売上高推移



海外向けアプリゲーム化権及び映像配信権の売上推移



hulu

北米
動画配信サイト
「hulu」



中国
動画配信サイト
「iQiyi」



中国アプリゲーム
「ドラゴンボールZ
ドクカンバトル」



中国アプリゲーム
「航海王(ワンピース)启航」



子供がプリキュアが大好きなので、これからも「プリキュアシリーズ」に期待しています。

(40代女性)

ありがとうございます。今年2月から放映中の「プリキュアシリーズ」13作目の「魔法つかいプリキュア!」は、4-6歳の女の子の視聴率やグッズ販売が好調に推移しています。プリキュアシリーズは、放映が開始された平成16年から12年間、女の子向けキャラクター人気不動のNo.1作品です。これからも日本だけでなく世界中の女の子たちを夢中にさせられるような「プリキュアシリーズ」を、スタッフ一同情熱をかたむけて、製作してまいります。今後の展開に是非ご注目ください。



「魔法つかいプリキュア!」



新大泉スタジオの完成が待ち遠しいです。(50代男性)

来年夏に竣工予定のスタジオでは、最新鋭の製作設備とアニメーターが働きやすい環境を準備することで、有能なクリエイターをたくさん集めたいと考えています。現在は、旧スタジオの解体工事が終了し、基礎工事を行っている最中です。スタジオ完成後に、好評いただいております「株主さま限定スタジオ見学会」を含めて、今まで以上にご満足いただけるような株主さま向けの施策も考えてまいりますので、期待してお待ちください。



オリジナル作品に力を入れて欲しい。

(40代男性)

当社は、「ワンピース」「ドラゴンボール」「セーラムーン」等をはじめとするマンガ原作の作品が多いですが、「おジャ魔女どれみ」「デジモン」「プリキュア」等の人気オリジナル作品も多数製作してきました。オリジナル作品は放映開始当初は知名度が低いため、玩具、出版、ゲーム等を絡めたメディアミックス戦略を活用しますが、それでもヒットさせるのは簡単なことではありません。現在、オリジナル作品として、60周年記念の長編映画「ポッピングQ」、当社初のCGテレビアニメ「正解するカド」、またおもちゃショーで発表しました「デジモンユニバース アプリモンスターズ」等を製作中ですが、これら以外にもさまざまな仕掛けや新たなビジネスモデルによるオリジナル企画を進行中ですので、当社からの新作発表を楽しみにしててください。



「ポッピングQ」



「デジモンユニバース アプリモンスターズ」



アニメーターの地位向上を!

(40代男性)

当社は製作プロダクションであり、「ヒト」が生み出すクリエイティビティで成り立っています。アニメーターだけでなく、製作に従事するスタッフ全員のモチベーションを上げ、クリエイティビティを最大限に発揮してもらえる制度や環境の整備が、当社のこれからの成長発展には欠かせません。現在アニメーターを中心とした製作スタッフの労務制度の見直しを行っております。今後も「ヒト」に対して惜しみない投資を行い、それを取り巻く制度、風土、組織、環境の改革を進め、アニメーション業界のグローバル・リーディングカンパニーに向けていっそうの成長を目指してまいります。

株主優待のご案内

株主優待オリジナルの 「キャラクター QUOカード」 を進呈

権利確定日：3月末日

株主優待限定の描きおろしデザインを含む、人気の新作アニメ2枚、懐かしの名作アニメ2枚の計4枚が1セットです。

平成28年進呈のQUOカード



「ONE PIECE
FILM GOLD」
平成28年
7月23日公開

描き
おろし

「魔法つかい
プリキュア!」
毎週日曜日
朝8時30～
ABC・
テレビ朝日系列
にて放映中



「なぐさ三銃士」
昭和47年3月18日公開作品



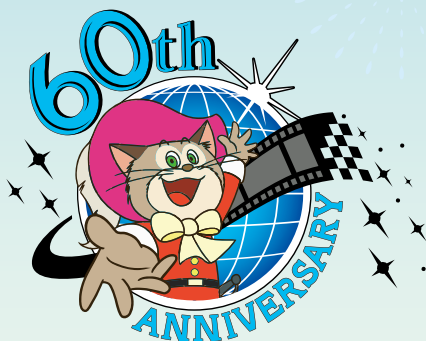
「魔法使いサリー」
昭和41年12月5日～昭和43年12月30日

ご所有株式数

100株以上で	1セット	2,000円相当
500株以上で	2セット	4,000円相当
1,000株以上で	3セット	6,000円相当
5,000株以上で	5セット	10,000円相当
10,000株以上で	10セット	20,000円相当

1セット
2,000円相当

東映アニメーションは
平成28年7月31日に
創立60周年を迎えます。



TOEI ANIMATION
夢は世界とともに

60周年ロゴを作成しました。

60周年記念ムック発売

創立60周年を迎えるにあたり、1980年代から1990年代の代表的な東映アニメーション作品を振り返りました特集ムックを発売いたしました。

詳細は下記URLをご覧ください。

<http://www.toei-anim.co.jp/books/>

60周年公式YouTubeチャンネルオープン

YouTubeにて「東映アニメーション 創立60周年 公式YouTubeチャンネル」をオープンしました。

<https://www.youtube.com/c/ToeiAnimation60th>

このほかにもさまざまな60周年記念企画が進行中です。

会社情報 (平成28年3月31日現在)

商号	東映アニメーション株式会社
英文社名	TOEI ANIMATION CO., LTD.
本社	〒164-0001 東京都中野区中野四丁目10番1号 中野セントラルパーク イースト5階 TEL 03-5318-0678(代表)
従業員数	連結 : 600名 単体 : 354名
上場市場	JASDAQ(コード:4816)
ホームページ	http://corp.toei-anim.co.jp

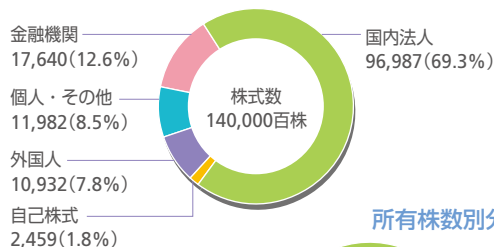
株主メモ

決算期	毎年3月31日
定時株主総会	毎年6月に開催いたします。
基準日	毎年3月31日 その他必要がある場合は、あらかじめ公告いたします。
剰余金の配当	毎年3月31日現在の株主または登録株式質権者にお支払いいたします。
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
特別口座の口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
郵便物送付先	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(電話照会先)	TEL 0120-782-031(フリーダイヤル) 取次事務は三井住友信託銀行株式会社 の本店および全国各支店で行っております。
公告方法	電子公告 http://corp.toei-anim.co.jp

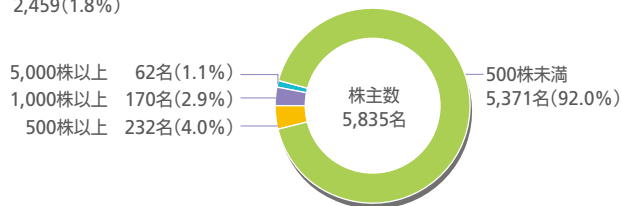
株式の状況 (平成28年3月31日現在)

発行済み株式総数	14,000,000株
株主数	5,835名

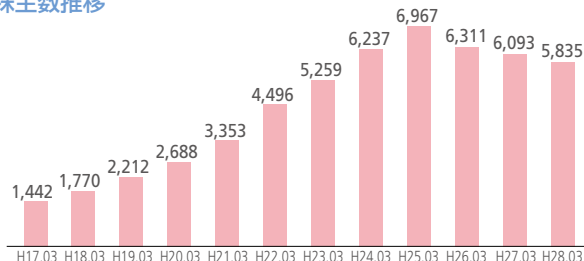
所有者別株式分布状況 (単位: 百株)



所有株数別分布状況



株主数推移



お知らせ

■住所変更、単元未満株式の買取等のお申出先について

株主様の口座のある証券会社にお申出ください。
なお、証券会社に口座がないため特別口座を開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

■「配当金計算書」について

配当金支払いの際送付している「配当金計算書」は、租税特別措置法の規定に基づく「支払通知書」を兼ねております。確定申告を行う際は、その添付資料としてご使用いただくことができます。

※確定申告をなされる株主様は、大切に保管ください。



「魔法つかいプリキュア!」
毎週日曜日 朝8:30～
ABC・テレビ朝日系列にて放映中



「ワンピース」
毎週日曜日 朝9:30～
フジテレビほかにて放映中



「ONE PIECE FILM GOLD」
平成28年7月23日～
全国ロードショー



「デジモンアドベンチャー tri.(トライ)
第3章「告白」」
平成28年9月24日～
劇場上映予定



「ドラゴンボール超」
毎週日曜日 朝9:00～
フジテレビほかにて放映中



「美少女戦士セーラームーン
Crystal」
毎週月曜日 23:00～
TOKYO MXほか全国6局にて放映中



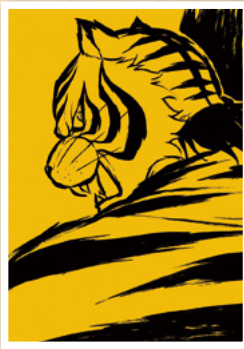
「ポップンQ」
今冬公開予定



「正解するカド」
当社初のCGアニメとしての
テレビシリーズ作品製作中



「デジモンユニバース
アプリモンスターズ」
平成28年10月より、
テレビ東京系にて放映開始



「タイガーマスク(仮題)」
テレビアニメ化決定

©尾田栄一郎・2016「ワンピース」製作委員会・バードスタジオ・集英社・[2015ドラゴンボールZ]製作委員会・本郷あきよし・フジテレビ・武内直子・PNP・講談社・車田正美・BANDAI NAMCO Entertainment Inc.・BANDAI・ABC・梶原一騎・辻なおき・「ポップンQ」Partners 2016・アブモンプロジェクト・テレビ東京・東映・光プロダクション・KINOSHITA GROUP・東映アニメーション
©developed by DeNA

免責事項

この報告書に記載しております当社および当社グループの計画や見通しにつきましては、現在入手可能な情報から得られた経営者の判断に基づいたものであり、今後さまざまな要因の変化により異なる結果となることがあります。

本誌は、環境に配慮した森林認証紙および
植物油インキを使用しています。

